

第9回 一般社団法人 愛知県産業廃棄物協会主催

尾張コース／8月17日

夏休み親子で環境・資源リサイクル体験ツアー

三河コース／8月2日

リサイクルの現場を見学し、環境や資源について学び、毎年多くのご家族の方から好評をいただいている「夏休み親子で環境・資源リサイクル体験ツアー」が開催されました。

尾張コースは8月17日(水)、三河コースは8月2日(火)に行われました。合わせて33家族79名の方が参加され、夏休みの宿題、自由研究のヒントや親子の思い出作りをお手伝いしました。

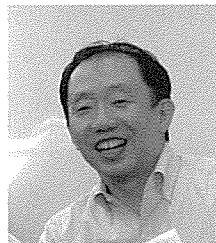
8月17日 尾張コース

参加者15家族41名は8月17日(水)午前9時30分に、名古屋市中区の日本特殊陶業市民会館前に集合して、バスに乗り込み出発しました。

車中では事務局長 小坂元信氏より配布資料の確認、参加者名簿、見学スケジュールの説明がありました。続いて、当協会専務理事 渡邊 修氏が挨拶され、同行した国立大学法人豊橋技術科学大学学長補佐環境・生命工学系准教授(工学博士)後藤尚弘先生の紹介がありました。協会からは環境アドバイザー 相宮良一氏も同行しました。



愛産協 渡邊専務理事



豊橋技術科学大学 後藤准教授

建設系廃棄物の選別、分別工程を見学 (株)リバイブ

名古屋高速道路を経て、東名阪道の弥富インターを降りた所に見学地の(株)リバイブ本社と産業廃棄物中間処理施設(弥富市西中地町五右135-2)があります。バスを降りると平沼辰雄会長の出迎えを受け、社屋入口の計量機のそばで挨拶がありました。

その後全員で計量機の上に乗し、平沼会長から「皆さんが今いる場所は、収集運搬車両がこの施設に



リバイブの工場に入る参加者

入ってきたとき、どれくらいの重量なのか、計る計量機の上なのです。全員の重量はどれくらいあると思いますか？」との問いかけに「1トンあります!」と平沼会長が答えると、子ども達から驚きの声があり、物の重さを視覚的に実感しました。

そのまま工場内に入り、搬入された廃棄物を人の手や重機を使って選別、分別する作業の様子や、種類ごとに分別したリサイクル商品の説明を受けました。コンクリートがらを重機で砕く作業や廃棄物の山から金属くず、木くず、廃プラスチック類などを手で取り出す様子を見て、作業の細さに関心を寄せていました。また平沼会長は廃プラスチック類の分別した箱からカバー、ファイル、小物を取り出し、まだ十分使えるものがたくさんあります。ごみにするのか、資源にするのか、と参加者に質問され、もったいないの精神を子ども達に啓発しました。

また最後に廃棄物の中から金属くずを吸引する、



リバイブ社屋で集合写真



平沼会長の挨拶



平沼会長の案内で選別の様子を見学

アームの先端に強力な磁石のついた大型重機の試乗もあり、順番に子ども達が運転席に乗り、重機の迫力に圧倒されました。

自然菜園で野菜の収穫体験とバーベキューを楽しむ。

選別・分別のリサイクル処理を見学した後、同社の前を走る東名阪道の反対側に位置する自然菜園にて、野菜の収穫体験やバーベキューを楽しみました。

食農循環プロジェクトの一貫で作られた菜園は、化学肥料を一切使用しておりません。子ども達は4～5名のグループになり、ハサミ、ビニール袋を手渡され、畑に入りナス、キュウリ、トウモロコシ、ピーマン、かぼちゃ、ネギの収穫体験を楽しみました。収穫した野菜は社員の方に切っただき、バーベ

キューの食材として皆さんでいただきました。

昼食後には小坂事務局長の司会で子ども達の自己紹介の時間が設けられ、可愛い手にハンドマイクを持ち、名前、学校名、学年の紹介の他、環境について後藤先生への質問や環境クイズの出題もあり、有意義なひとときを過ごしました。

午後から再びバスに乗り、稲沢市の愛知県下水道科学館を自由見学しました。下水道の仕組みや水の浄化システムの様子が立体的な展示物で紹介されており、夏休みの宿題の題材やヒントが多数ありました。また施設の敷地内には里山の自然を復元したようなビオトープが設けられ、散策しながら環境を学べる楽しい施設でした。

体験ツアーを通じて、廃棄物が多いの工程を経て

リサイクルされる仕組みを知ることにより、ものを大切に、3Rについて考える環境教育に結びつくのではないかと思います。



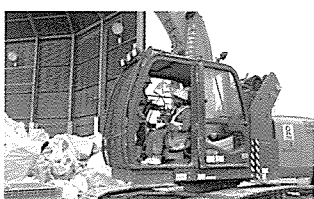
説明を受けてメモを取る参加者



野菜の収穫体験とバーベキューを楽しむ。



金属くずを吸引する大型の重機に試乗



運転席に試乗し迫力を味わう。



昼食後、ハンドマイクを持って自己紹介



8月2日 三河コース

参加者18家族38名は8月2日(火)午前9時に、名鉄東岡崎駅南口ロータリーに集合して、バスに乗り込み出発しました。

車中では事務局長 小坂元信氏より、資料の確認、参加者名簿、見学スケジュールの説明がありました。

続いて、当協会専務理事 渡邊修氏が挨拶し、同行した国立大学法人豊橋技術科学大学グローバル工学教育推進機構国際交流センター(大学院工学研究科環境・生命工学系兼務)センター長・教授(工学博士)大門裕之先生



豊橋技術科学大学
大門教授

の紹介がありました。

PCB廃棄物を安全・確実に処理している施設を見学

中間貯蔵・環境安全事業(株) 豊田PCB処理事業所

1時間ほどで最初の見学地、中間貯蔵・環境安全事業(株)豊田PCB処理事業所(豊田市細谷町3-1-1)に到着しました。この施設は全国に5か所ある施設の一つで、PCB廃棄物を安全・確実に1日1.6

トン処理しています。



豊田PCB処理事業所
酒井副所長

会議室にて副所長 酒井祥亘氏から挨拶があり、その後PCBについてこれまでどのように使われてきたのか(過去における大量使用、有害性が高く環境に影響)、今後どのような対策を講じれば良いのか、またこの施設でどのような処理が行われているのかを、アニメで解説された映像を



会議室で酒井副所長からPCBについて説明を受ける。

見ました。続いてPCBに直接触れないよう保護服を着た職員と積み木並べゲームを行い、動きにくいことを知りました。続いて酒井副所長の説明を受けながら、施設内でどのようにPCBが完全自動化でコンデンサ、トランスから抜油され、脱塩素化剤により分解され、金属部品は洗浄されリサイクルされているのか、その工程を見学通路のガラスの窓越しから各設備ごとに見学しました。また日本中のPCB運搬車両が今どこにいるかを把握し、万が一事故が起きた場合は速やかに通報、事故処理ができるシステムの説明がありました。

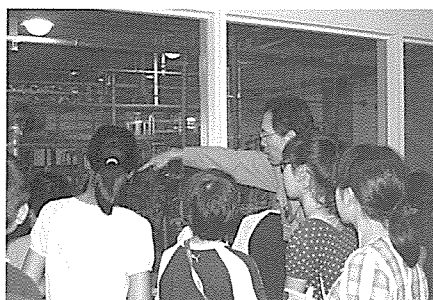
再び会議室に戻り、自然生物の一口メモを記したカルタ取りを行い大いに盛り上がりました。見学後の質疑応答では、子ども達から「機械のすみに残ったPCBはどうやって全部とるのですか。」「機械にPCBが入っているかどうかどうやって探すのですか。」等の質問が活発にあり、酒井副所長がひとつひとつ丁寧に答えられました。

ウッドチップで出来た堆肥に触れ、ビオトープやブルーベリー摘みで自然を満喫 (株)鈴鍵 下山パークパーク

職員の方々に見送られて再びバスに乗り、下山パークパーク(豊田市和合町田螺池245-1)に向かいました。車中では大門先生の軽妙なトークで、



保護服を着た職員と積み木並べゲーム



見学通路から施設の説明を受ける。



パソコンで全国の運搬車両を確認



下山パークパークで梅村会長(左端)、丹羽部長と参加者一同

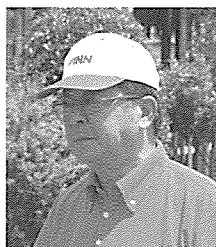


昼食はバーベキュー

子どもたちの自己紹介、見学した豊田PCB処理事業所やPCBに関するクイズを出し合い大いに盛り上がり、1時間ほどで下山パークパークに到着しました。

下山パークパークは、当協会員の(株)鈴鍵(代表取締役会長梅村正裕氏)による、ウッドチップリサイクル施設とブルーベリー農園、ビオトープ公園が整備された施設です。

梅村会長、代表取締役社長鈴木元弘氏とスタッフの皆さんの出迎えを受け、バーベキュー会場に入り、お肉と野菜を渡されて家族ごとに炭火の上に網や鉄板が敷かれた席に着きました。炭火の熱気を受けながらお肉



(株)鈴鍵 梅村会長



(株)鈴鍵 鈴木社長



(株)鈴鍵 丹羽工事部長

や野菜、貝を焼いてバーベキューを満喫した後、特大五平餅をいただきました。

食後は工事部長 丹羽庸介氏の案内で伐採工事や剪定工事で発生する下木、根株などの低質材

を再利用するウッドチップリサイクルシステムの工程を見学しました。細かく粉碎され山のように積まれた発酵前のウッドチップと、空気を調整しながら発酵させた温かいチップを触り、温度差を体感しました。この後、完熟堆肥として販売されるとのことでした。また麻袋につめて道路など法面の崩落を防止するエコ法枠工法や竹チップによる濁水浄化システムを見学しました。

その後、周辺一帯に広がる昔の里山を再現したビオトープを散策し、小川のせせらぎや水たまり、バッタやカマキリなどの昆虫を見つけるなど、自然の生態系を学びました。ブルーベリー農園ではいろいろな種類のブルーベリーを摘み、品種による甘さや酸っぱさの違いを味わいました。

帰路の車中では子ども達が各自で考えた見学施設の問題を出し合い、寝る暇もなく午後5時に東岡崎駅に到着しました。参加された子どもたちは「ちょっと難しかったけど面白かった。」「バーベキューが楽しかった。」と、保護者の方からは「普段はなかなか入れない施設の見学ができ大変ためになった。」「夏休みの自由研究のテーマができた。また参加したい。」と多数感謝の声がありました。



ウッドチップを触ってみる。



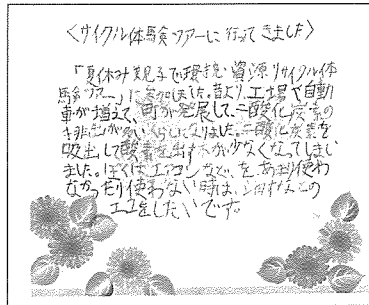
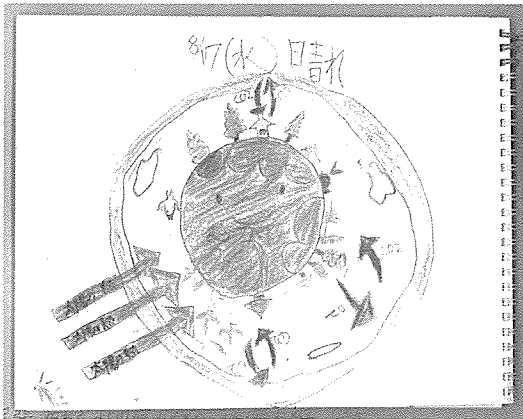
ビオトープで生き物を探す。



ブルーベリーを食べ比べ

体験ツアーに参加された皆さんから、自由研究や絵日記、作文など
夏休みの思い出をたくさん送っていただきましたのでご紹介します。

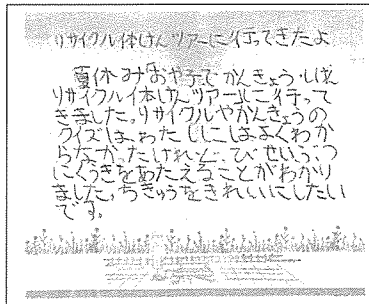
尾張コース



[絵・文]
小学校 5年生
伊津野 晴生 さん

<リサイクル体験ツアーに行
てきました>

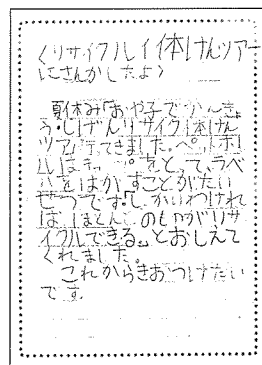
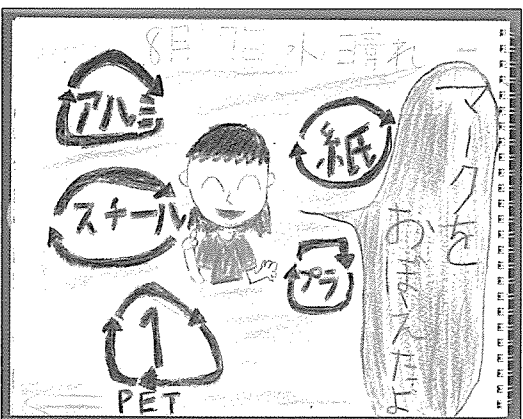
「夏休み親子で環境・資源リサイ
クル体験ツアー」に参加しました。昔よ
り、工場や自動車が増えて、町が発
展して、二酸化炭素の排出が多いく
らしになりました。二酸化炭素を吸出
して酸素を出す木が少なくなってい
ました。ほくはエアコンなどをあま
り使わなかったり、使わない時は消す
などのエコをしたいと思います。



[絵・文]
小学校 2年生
いづのみき さん

リサイクル体験ツアーに行
てきたよ

夏休み「おや子でかんきょう・し
げんリサイクル体験ツアー」に行っ
てきました。リサイクルやかんきょう
のクイズは、わたしにはよくわから
なかったけれど、びせいぶつにくうきを
あたえることがわかりました。ちきゅ
うをきれいにしたいと思います。



[絵・文]
小学校 2年生
いづの ゆき さん

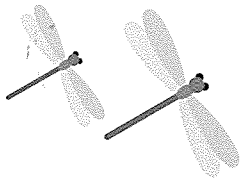
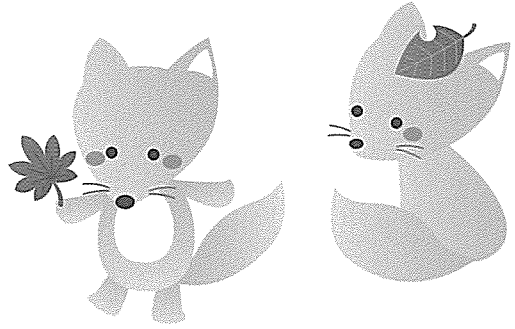
<リサイクル体験ツアーにさんかした
よ>

夏休み「おや子でかんきょう・しげんリサイ
クル体験ツアー」行ってきました。ペットボ
トルはキャップをとって、ラベルをはがすこ
とがたいせつです。「しっかりわければ、ほとん
どのものがリサイクルできる。」とおしえてくれ
ました。

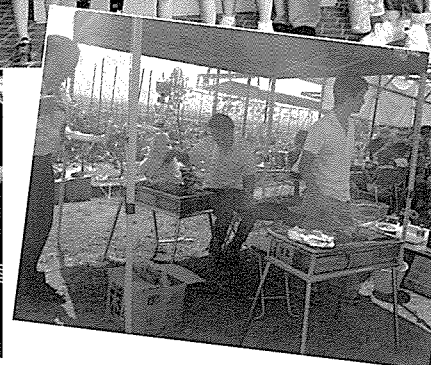
これからきをつけたいです。



【絵】
小学校 3年生
林 優希さん



体験ツアー
今年も子ども達に大好評!



三河コース

豊田事業所を見学して
5年 白井晶子

夏休みを利用して、母と環境や資源リサイクルについて学ぶツアーに参加しました。私の住んでいる豊橋市も、この四月からゴミ出しがともきびしくなり、指定の袋で分別しないと回収してくれなくなりました。この事からも、私たちの身のまわりで、環境問題を身近に感じる事がとても多くなり、是非JESCOって何だろう、何する所だろうと興味津々で豊田事業所に向かいました。バスの中から最初に見たのは、大きなしかも、きれいな建物でした。何階建てかなあと行って、バスの窓から立ち上がって見たけど、全然わかりませんでした。

中での話は、副所長さんがわかりやすく機械のしくみを説明して下さい、いつもなら見学できない所にも行って、感激。そこで、「PCB」の事を学び、朝出かける前の私よりも、知識が増え一つ賢くなりました。くやしかったのがカルタ取りで、男子に負けた事、あの記念品が欲しかったと正直思いました。よい経験ができました。ありがとうございました。

[作文]
小学校 5年生
白井 晶子さん

環境資源リサイクル体験ツアーに参加して
5年 高木すずは

PCB廃棄物処理施設と聞いても、全く分からなくて、難しそうだなと思っていました。でもバスの中でクイズや話を聞いて、学校で習ったエコ活動を思い出して、少しワクワクしてきました。施設は大きくて、立派でした。説明も難しく、分からない事もあったけど人間が作った物だから、責任をもって、しっかりとちやいけない事だということは、分かりました。本当にききなPCBは、わずかで、全てを処理しなくてもいいのに、続けなくてはいけないの、おかしいと思いました。

今回、親も知らなかった施設を見学できてよかったです。大学の先生の話もおもしろかったです。ありがとうございました。

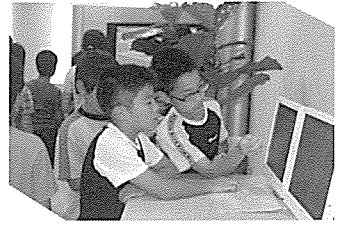
[作文]
小学校 5年生
高木 すずはさん



[絵]
小学校 5年生
原田 悠宇さん



環境学習は地球を守るサイエンス



PCB 廃棄物処理施設を見学したよ。

PCBとは。

- PCBは、主にトランスやいんさつきなどに使われている。
- PCBが有害だと知られたのは30年ぐらい前です。
- PCBは科学反応をおこすとしおやビフェニールになる。

PCBを分かいるとこんな感じですよ。



ブルーベリーがり

- ブルーベリーにはいろいろなしゅるいがあります。
- ダロウ、スパタン、などがあります。
- ブルーベリーは木の上にある方があまい。
- 色はこい方があまい。



ウッドチップ

- 木のねっこを糸田かくくたいいた木物がウッドチップです。
- 木ざいとウッドチップをあわせるときかできます。
- ウッドチップはこんな感じで作られます。



PCBのことわらひてあめたておひん、大まなかへんておひん。

はいきぶつしよりしせつ けんがく PCB廃棄物処理施設を見学したよ。

[PCBとは]

- PCBは主にトランスやいんさつきなどに使われている。
- PCBが有害だと知られたのは30年ぐらい前です。
- PCBは化学反応をおこすとしおやビフェニールになる。

PCBを分かいるとこんな感じですよ。

[ブルーベリーがり]

- ブルーベリーにはいろいろなしゅるいがあります。
- ダロウ、スパタン、などがあります。
- ブルーベリーは木の上にある方があまい。
- 色はこい方があまい。

[ウッドチップ]

- 木のねっこを細かくくたいた物がウッドチップです。
- 木ざいとウッドチップをあわせるときかできます。

ウッドチップはこんな感じで作られます。

[自由研究]
小学校 4年生
成瀬 竜也 さん

